



## デジタル化推進に向けた連携協定

玉川村は、NTTデータ、日立、三菱HCキャピタルと玉川村におけるまちづくり、産業、教育、環境、防災、観光などさまざまな分野でのデジタル化推進に向け、相互協力の連携協定を締結しました。

締結後は、民間が有する先進技術やノウハウなどを活用し、手ぶらキャッシュレス実証事業によりデジタル地域商品券の購入などを実施し、デジタル技術を活用した新たな事業の創出による村の地域振興を推進しています。

手ぶらキャッシュレス実証事業による「デジタル地域商品券」を購入すると、実証事業協力店舗でのお買い物が認証装置に指をかざすだけで簡単にできます。

現金やクレジットカード、スマートフォン等を持ち歩く必要のない、生活をより豊かに、便利にするためのツールとして検証していきます。

また、その検証した結果を踏まえ、2023年度には協力店舗及び利用者の拡大や村内施設の認証利用など実証事業を継続しながら拡大していきます。

さらに、デジタル体験として、主に小学生を対象に、ゲーム感覚でパソコンやプログラミングに親しんでもらうイベントや、社会におけるIT活用事例を学ぶ講座を開催することで、デジタルへの関心を持つきっかけを提供していきます。



## サイクルヴィレッジたまかわ事業

### スポーツに親しめる村づくりを目指しています

玉川村が持つ自然の多様性や環境を活用しながら「玉川村にしかない！」トレイルコースや、体験や史跡を巡るガイドツアーコースを利用した「レンタサイクル事業」、体育施設を活用しBMXやスケートボード等の利用ができる「アーバンスポーツたまかわ事業」により、多くの観光利用者を取り込みながら、村民もスポーツに親しめるまちづくりを目指します。



#### レンタサイクル事業

e-bikeを利用したレンタサイクルで、村内にあるトレイルコースや各種ツアーコースを楽しめます。さらには、たまかわ観光交流施設「森の駅 yodge」と連携した着地型の観光を推進いたします。

#### アーバンスポーツたまかわ事業

東京オリンピック競技にもなった、BMXやスケートボード等アーバンスポーツの推進を図ります。また、定期的なイベント開催等、多くの方に利用いただける施設運営を目指します。  
※令和4年度中は実証実験期間として運営を行います。



#### (仮称) スキルパークたまかわ事業

新たな屋外フィールドとして、岩法寺地区にあるグラウンド（福島空港未共用地内）を活用し、地域や福島空港と連携した実証事業を行います。

## 玉川大学との連携協力



### 平成 29 年 1 月に協定を締結

玉川村と玉川大学（東京都町田市）は、包括的な連携のもと、まちづくり・産業・教育・文化・環境・学術等の分野において、相互に協力し地域の発展と人材の育成に寄与することを目的に平成 29 年 1 月に協定を締結しました。

締結以来、さるなし商品のパッケージ提案、地域資源の再発見、さるなしの 6 次化、PR 動画作成、中学生研修等、様々な事業を展開しています。



学習支援の様子



中学生研修（玉川大学訪問）

## 明治安田生命保険相互会社との連携協力



玉川村と明治安田生命保険相互会社は、健康増進に関する取り組みを推進するにあたり、健康づくり、がん対策、感染症やその他健康に関することなど、地域のニーズに迅速かつ適切に対応し、村民の健康増進やサービスの向上を図ることを目的に令和 3 年 11 月に協定を締結しました。